

2022年度 発達障害医学セミナー

# 自閉スペクトラム症（ASD） 支援のアップデート

コロナ禍の影響で、医学セミナーも2020年、21年はオンデマンド配信となりました。環境の変化に弱い発達障害児、特に自閉スペクトラム症の人については、より困難な日々が続いて、旧来以上の支援が待ち望まれています。幸い、コロナとの共生が見通せるようになり、対面での交流も回復しつつありますので、3年ぶりに医学セミナー会場開催を企画しました。

テーマは「自閉スペクトラム症支援のアップデート」といたしました診断名に使われているスペクトラムとは（連続体）です。自閉スペクトラム症は、症状や困難さに多様性があり、必然的に配慮や支援も個々により異なります。薬物治療、心理療法、合理的配慮、併存症の治療、人工知能を用いた診断支援法など、当事者にあった適切な支援法の組み合わせることが肝要です。

今回のセミナーでは、さまざまな支援の現状について、専門の講師の先生に講義をお願いしています。最近の知見もちろんのこと、旧来より行われてきた療育や応用行動分析についても、臨床知見を包括的にご教示いただけるものと考えています。参加者の皆さんにとって有意義な医学セミナーになると確信しております。なお、本年度は1日のみの開催となります。

発達障害医学セミナー コーディネーター 古荘純一  
公益社団法人 日本発達障害連盟 理事  
青山学院大学 教育人間科学部 教育学科 教授

日時

2022年 | 2月 | 7日 土

場所

青山学院大学渋谷キャンパス  
(東京都渋谷区渋谷 4-4-25)

定員

100名

※一部オンラインに変更になる可能性があります。

※講演のタイトルや時間割が変わる可能性もあります。

主催：公益社団法人 日本発達障害連盟

## 講演内容

- 10:00-11:00 境界知能と発達障害  
宮口幸治氏 (立命館大学産業社会学部 教授)
- 11:10-12:20 自閉スペクトラム症における応用行動分析学  
松田幸都枝氏 ((株)チルドレン・センター 代表)
- 13:30-14:40 自閉スペクトラム症の療育  
高木一江氏 (横浜市中部療育センター 所長)
- 14:50-16:00 自閉スペクトラム症の併存症とその治療  
井上祐紀氏 (福島県立矢吹病院 副院長)
- 16:10-17:20 ロボットおよび人工知能を用いた自閉スペクトラム症の支援  
熊崎博一氏 (長崎大学未来メンタルヘルス学分野 教授)

※一部オンラインに変更になる可能性があります。  
※講演のタイトルや時間割が変わる可能性もあります。

## 【セミナー受講料】

一般：12,000円  
賛助会員：10,800円

※構成団体の賛助会員とは別となりますのでご注意ください。

## 【セミナー申込方法】

### ◆インターネット

<http://www.jlidd.jp/seminar/>

### ◆郵送・FAX

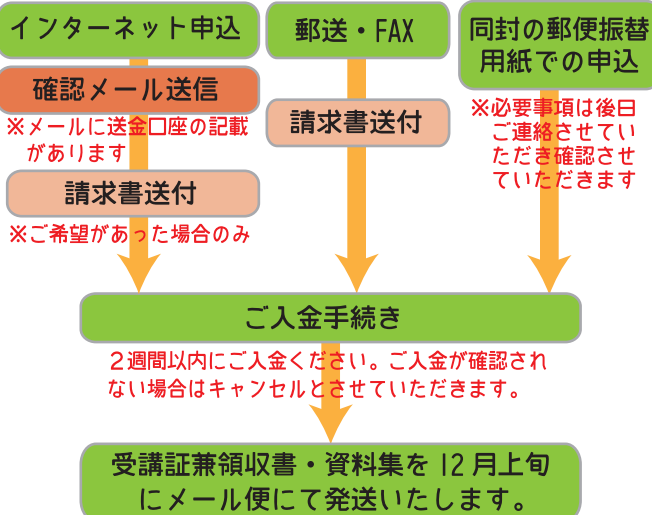
下記申込書に必要事項を記入し、お問合せ先にある住所へ郵送またはFAXでお申込みください。

### ◆同封の郵便振替用紙での申込

【セミナーサイト】



## お申込みからの流れ



※参加される方の理由によるキャンセルにつきまして、ご入金後の払い戻しはできかねますので予めご了承ください。お申し込みの取り消しはできませんが、代理の方の出席は可能です。

【問合せ先】(公社)日本発達障害連盟 セミナー担当  
申込書郵送先：〒114-0015 東京都北区中里 1-9-10-402  
電話：03-5814-0391 FAX：03-5814-0393  
E-mail：seminar22@jlidd.jp

## 【発達障害医学セミナー申込書】

参加者名 (ふりがな)
ご所属
ご所属先 (例：医者・支援員・相談員等)での職務
ご住所 (請求書等郵送先) 〒
お電話番号  法人申込の場合ご担当者様名 ( )
請求書・領収書発行の有無 (□郵送希望・□メール添付希望) 請求書 / 領収書 / 請求書・領収書共 ※必要なものを○で囲ってください。
請求書宛名
送付メールアドレス